

窓アタッチメントDIY

タミヤ塗装ブース版/ミスターホビー塗装ブース版 **Mat-Ta** **Mat-Mr**

品番: USTH-015-Mat-Ta / USTH-015-Mat-Mr 取扱説明書 袋: PP 主要部品: PLA

取扱説明書

はじめにお読みください

- ① 本製品はDIY製品です。基本の使い方はございますが、お客様の自己責任の元、お客様のご利用環境にあわせ、ひとつの部品として、工夫してお使いいただく製品です。
- ② 本製品は、本製品と各自にて別途ご購入して頂く部材とを組み合わせる使用する製品です。

このたびは本製品をお買い上げ頂き、ありがとうございます。ご使用前に、取扱説明書をよくお読みいただき、製品を正しく安全にお使いください。警告、安全上のご注意も必ずお読みください。取扱説明書は大切に保管してください。

※本製品は3Dプリンター製です。部品には凹凸、突起などがございます。取扱いにご注意ください。

警告

本製品を窓に取り付ける際は、ワイヤーなどで脱落防止策をとってください。誤って落下させた場合、重症、死亡事故につながる恐れがあります。脱落防止策をとれない場合は、本製品をご使用いただけません。

安全上のご注意

!	窓アタッチメントDIYが窓に固定されているか、それぞれの部品が固定されているか確認する。 落下により、けがをする恐れがあります。	がをする恐れがあります。
	部品は確実に取り付ける。 落下により、けがをする恐れがあります。	窓アタッチメントに手をつけて体重をかけたり、寄りかかったりしない。 脱落により落下、転落し、けがをする恐れがあります。
	使用を終了した製品は放置せず撤去する。 落下により、けがをする恐れがあります。また、紫外線で部品が劣化して落下により、けがをする恐れがあります。	取り付け、お手入れの際は、ゴム手袋を使用する。 樹脂部品の凹凸や角などでけがをする恐れがあります。

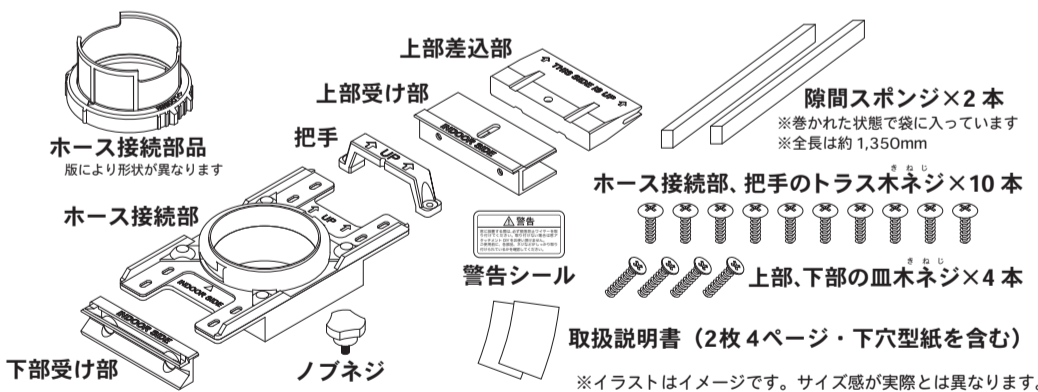
ご利用上のご注意

- 使用の際は脱落事故防止のために、脱落防止ワイヤーなどで必ず脱落防止策をとってください。
- 24時間換気扇が設置されている場合、本製品使用後は24時間換気扇を稼働させてください。
- 窓を開ける通常の換気も適宜行ってください。
- 暴風、暴風雨、風の強い日などは、脱落する恐れがあるので使用しないでください。
- キッチンの換気扇を使用する際は「窓アタッチメントDIY」及び塗装ブースの使用を中止するか、吸気を確認してください。塗装ブースが逆流を起こす恐れがあります。
- 窓アタッチメントの取り付け、取り外しの都度、窓に固定されているか確認してください。
- 製品の改良のため予告なくデザイン、色を変更することがあります。

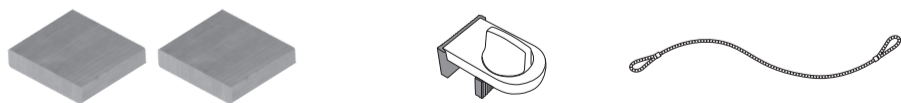
お手入れ

- 清掃は定期的に行ってください。
市販のエアダスターでホコリを吹き飛ばしてください。水拭きする場合は、固く絞った雑巾で拭いてください。水洗いはしないでください。ホコリは短期間で多く付着しますので、頻りに確認してください。

同梱品 すべて揃っているかご確認ください



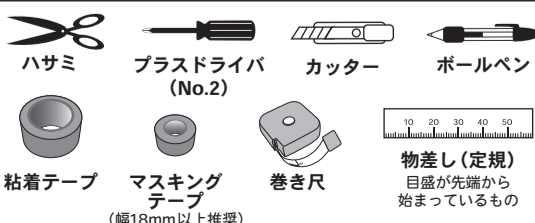
別途用意する物 (別売品) 各自でご用意ください



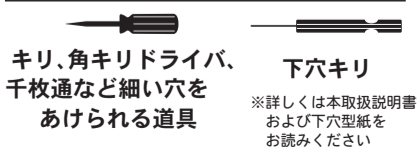
1×4材 (ワンバイフォー) を2本 寸法については「3. 事前準備」をご覧ください。
窓ストッパー1点 (窓補助錠)
脱落防止ワイヤー1本

用意する道具 (別売品) 各自でご用意ください

必須の道具



あると便利な道具

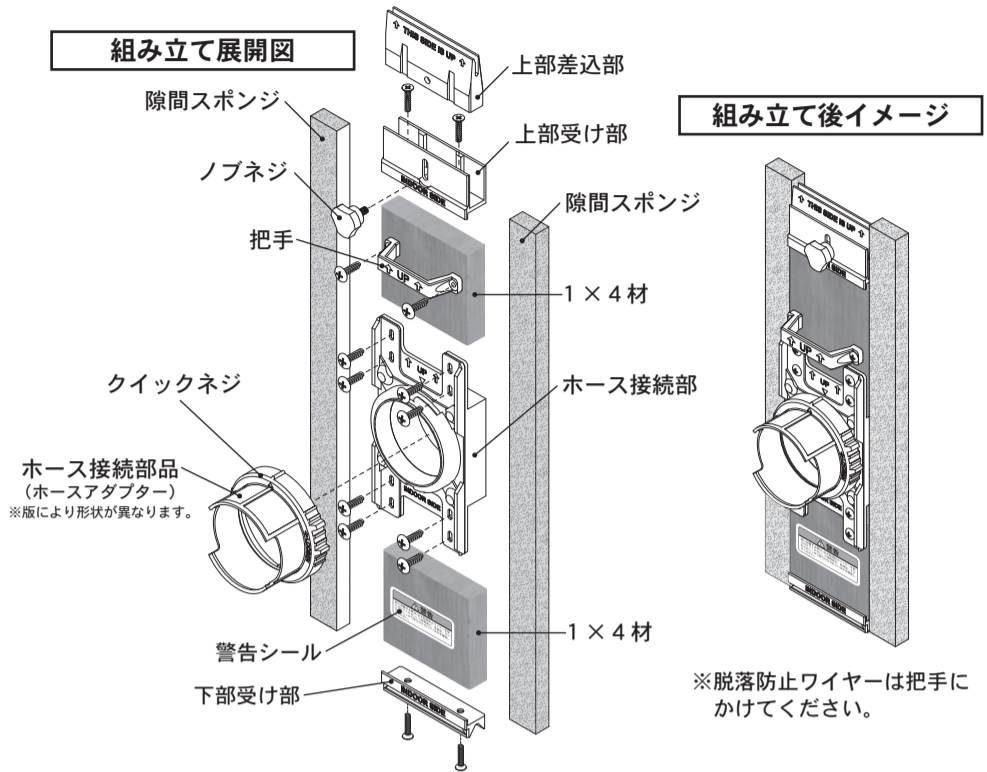


製品紹介動画 (YouTube) をご覧ください

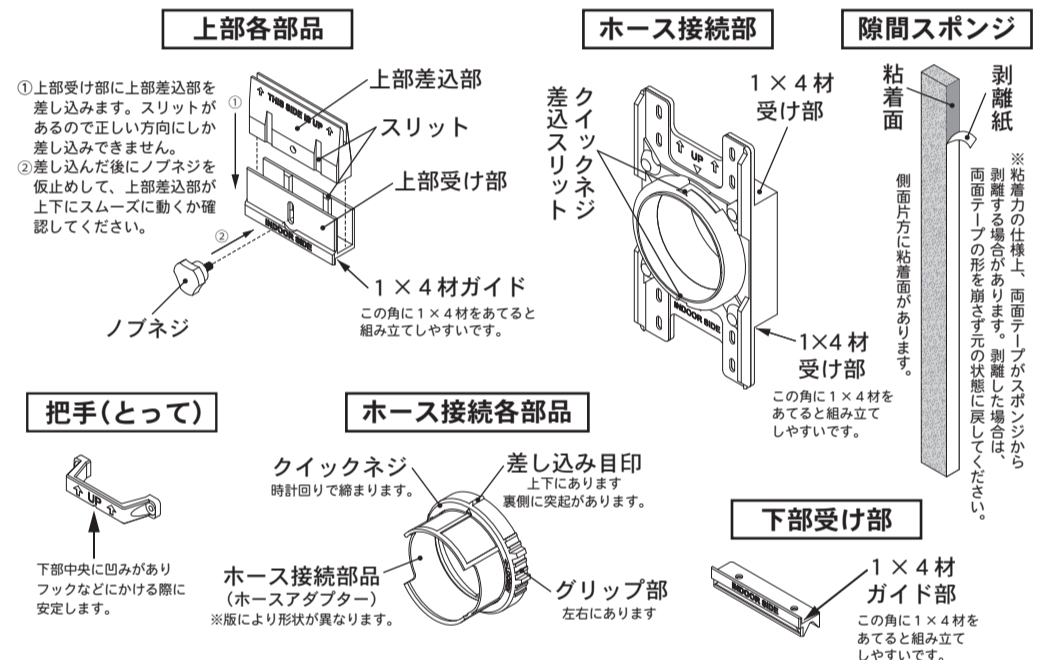
『窓アタッチメントDIY』を紹介する YouTube 動画がございます。本製品の使用にあたり、組み立て方、取り付け方などを詳しく紹介しています。取扱説明書では説明しきれない要素を補う内容となっておりますので、ぜひご覧ください。



1. 各部名称と組み立てイメージ

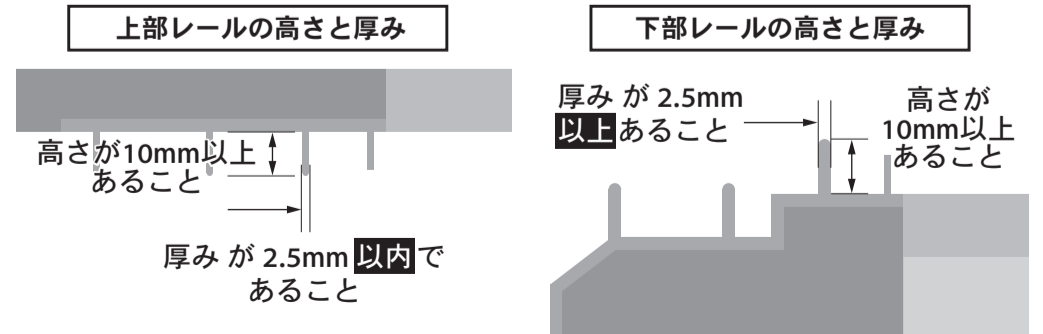
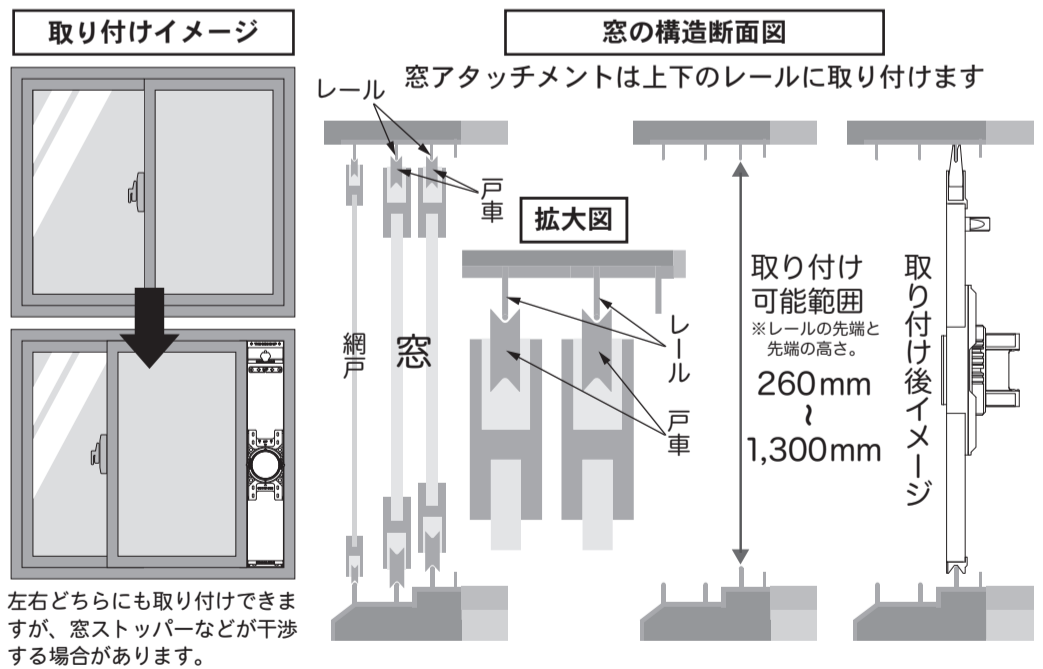


上下、向きを (屋内側・INDOOR SIDE) をご確認ください。



2. 取り付けできる窓

窓アタッチメントDIYは一般的な引き違い窓のレールに取り付けることができます。

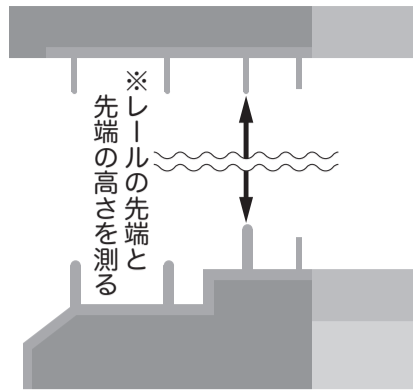


※レールは、上部レールが下部レールより薄いのが一般的です。

3. 事前準備

1 レール間の高さを測る

窓アタッチメント DIY はレールに取り付けます。右の断面図のように、取り付けレールの先端と先端との高さを測ってください。レール間の高さで、1×4材の切り出し寸法を算出します。高さはできるだけ正確に測ってください。



2 高さを測ったら、ホース接続部の位置を決める

レール間の高さを測ったら、ホース接続部の位置を決めます。1×4材の寸法を変えることで、ホース接続部の位置を自由に決めることができます。

↓ 一例として、レール間の高さが800mmなら ↓

800mm から規定数値137mmを引きます。

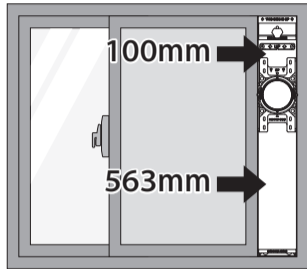
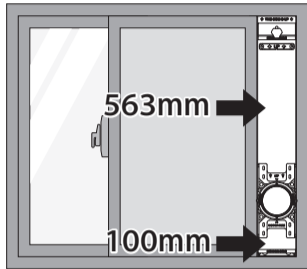
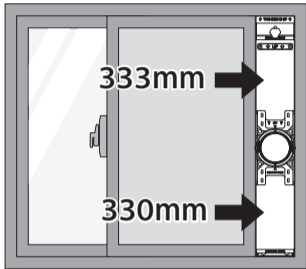
800mm - 137mm = 663mm

この663mmを基準にして1×4材の上下の寸法を決定します。

ホース接続部を
中心にする場合は

ホース接続部を
下側にする場合

ホース接続部を
上側にする場合



このように1×4材の寸法を変えることで、ホース接続部をお好みの位置にできます。

※割り切れない数字の場合は片方に寄せてください。

※1×4材の最長は上下とも62ミリです。これ以上短くすることはできません。

3 決定した寸法の1×4材を購入する

1×4材 (19mm×89mmの角材) はホームセンター等でご購入ください。

ホームセンターの木材カットのサービス (有償) のご利用をお勧めします。

カットサービスなら、ご希望のサイズにきれいに切り出すことができます。

※切り出しは1mm単位で、コンマ以下の指定はできないことがほとんどです。予めご承知おきください。

1×4材のカットについてのご注意

ご自身でカットする場合は、切り落とし分 (切ることによって短くなる分) を考慮してください。例えば、算出した寸法が663ミリだから、とりあえず「**663ミリの1×4材**」を購入し、その後自宅でホース接続部を位置を決めるとした場合、切り落とし分が発生して寸足らずになります。

4 残りの「別途用意する物」を用意する

ホームセンター等でご購入ください。

4. 組み立てる

1 下穴型紙を切り出す

取扱説明書2枚目の下穴型紙を使って、1×4材に下穴をあけてください。詳しくは下穴型紙をご覧ください。

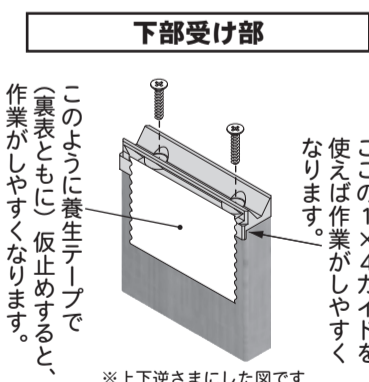
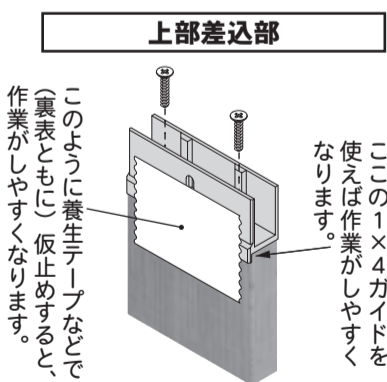
※型紙は公式ウェブサイトでもダウンロードできます。(www.ubeproduct.jp/madoatta)

2 上部差込部、下部受け部を1×4材に取り付ける

図のように皿の木ネジで固定してください。ズレないように取り付けてください

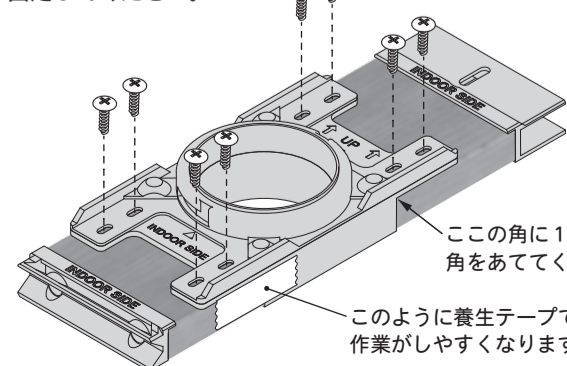
木ネジを打つ際のご注意

木ネジはズレて打ち込まれることが多いネジです。そのため、下穴キリなどで下穴を開けることをおすすめします。締め付けるときは、一箇所を一気に最後まで締め付けるのではなく、バランスよく徐々に、1×4材と部品の位置を確認しながら締めてください。



3 ホース接続部を1×4材に取り付ける

図のようにトラス木ネジで固定してください。



この角に1×4材の角をあててください。

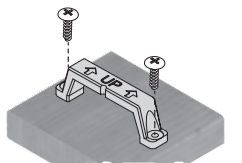
このように養生テープで (イラスト一例) 仮止めすると、作業がしやすくなります。

組み上げのコツ

窓アタッチメントは、ゆがみ無く、まっすぐに組み上げることで、窓と窓アタッチメントとの隙間のないしっかりしたものに仕上がります。そのために、全体的に木ネジを徐々にしめつけて、まっすぐになるよう調整しつつネジを締めてください。ホース接続部のネジ穴は楕円になっているので、多少の調整が可能です。

4 把手を取り付ける

把手に決まった取り付け位置はありません。取り回しやすく、かつ脱落防止具として機能する位置に取り付けてください。



5 組み上がった窓アタッチメントを窓に取り付けて確認する

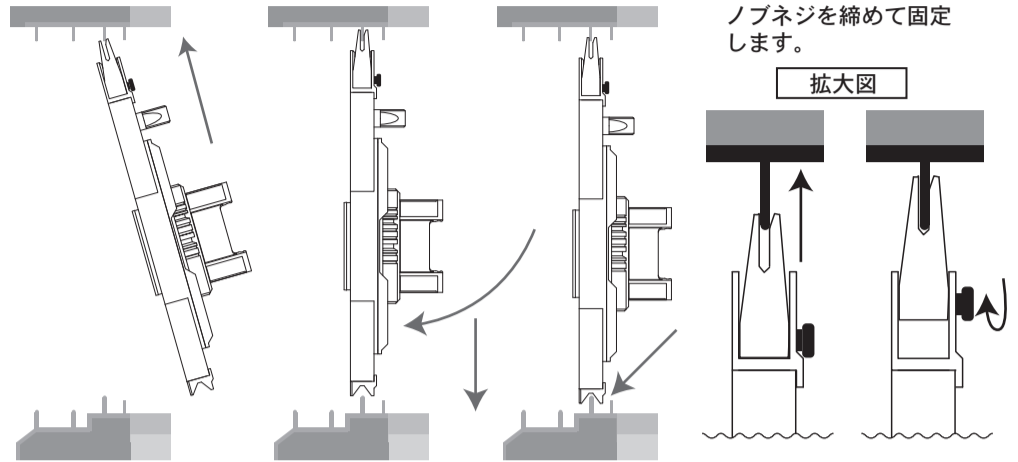
組み上がった窓アタッチメントを、窓に仮に取り付けて問題ないか確認します。下図の要領で窓に取り付けます。

①ワイヤーなどで脱落防止策をとってください。

②上部差込部をレールに差し込みます。

③窓アタッチメントを真っ直ぐにして下部受け部にレールを乗せます。

④ノブネジを持ち上げて上部差込部を差し込みノブネジを締めて固定します。



⑤脱落すること無く、手を離しても倒れたりしないことを確認してください。 ※多少のガタはありますが、できるだけガタがでないように調整してください。

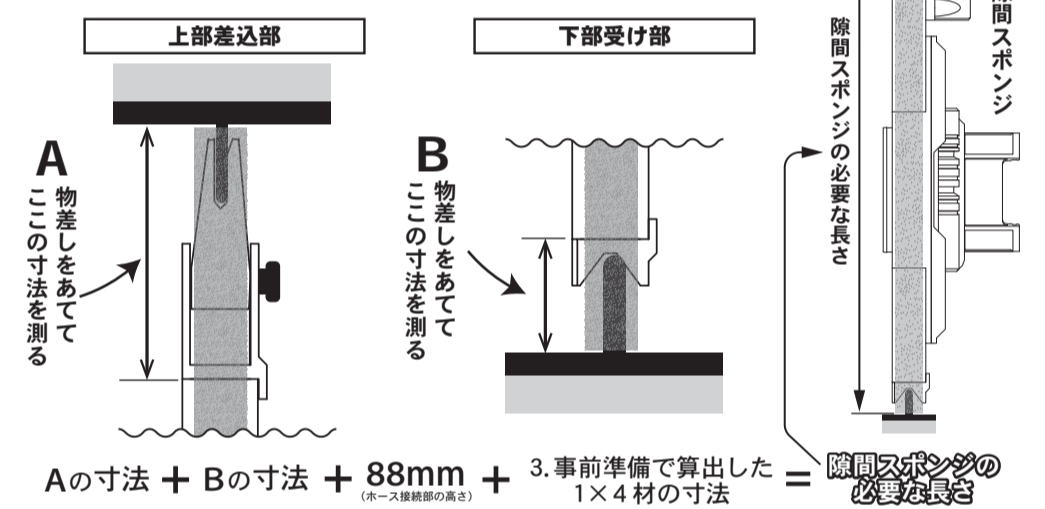
⑥窓に取り付けたまま、次の「隙間スポンジを貼る」に進みます。

5. 隙間スポンジを貼る

窓に取り付けた窓アタッチメント (現物) をご覧ください。左右に隙間があります。この隙間を隙間スポンジを貼り付けることで埋めます。貼り付ける前に、以下の下準備を行ってください。

1 隙間スポンジの必要な長さを算出する。

右の図は、隙間スポンジの必要な長さを示しています。レールの根本から根本までであると隙間がしっかり埋まります。この長さは、下図のAとBの寸法を測り、下の計算式で算出できます。



2 隙間スポンジを算出した必要な長さにカットする

隙間スポンジの必要な長さが算出できたら、隙間スポンジを算出した寸法にカットします。

ワンポイントアドバイス 隙間スポンジの切り方は、製品紹介動画をご覧ください。綺麗に切れる方法をご覧ください。

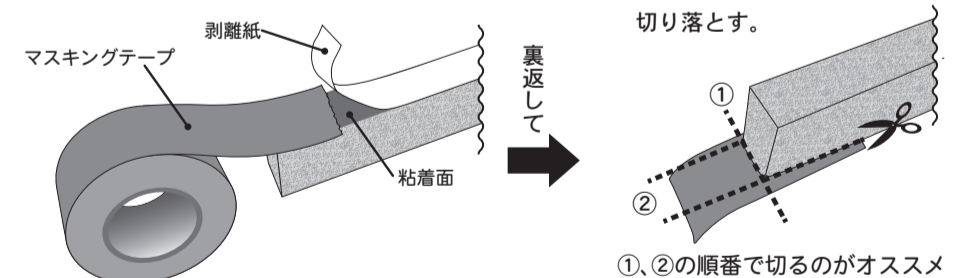
3 隙間スポンジの粘着部の一部を無効化する

上部差込部には稼働部があります。また下部受け部は隙間を埋めるために、隙間スポンジを少しだけのみ出させる必要があります。このため、隙間スポンジの上下の一部粘着部を無効化 (くっつかなくする) 必要があります。無効化する範囲は、先に測った、AとBの寸法になります。

①剥離紙を適当な分、剥がします。

②マスキングテープをイラストのように貼り付けます。

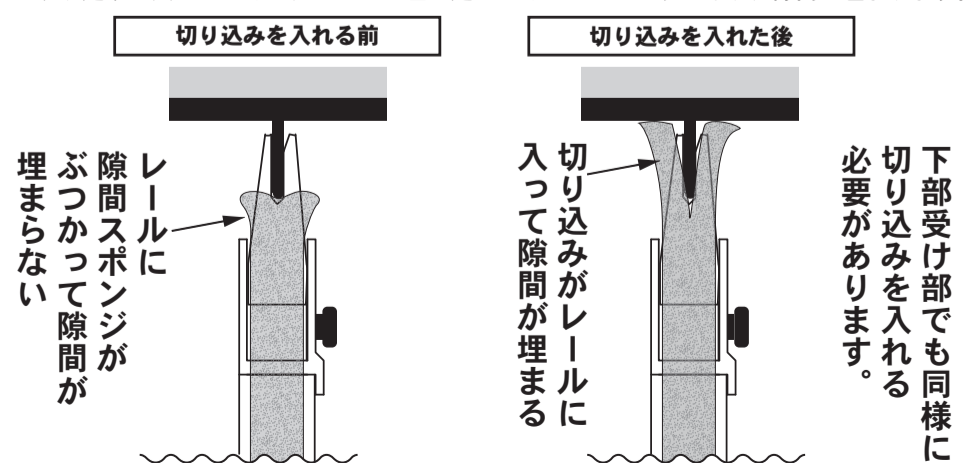
③裏返して、下図のようにのみ出したマスキングテープを点線に沿って切り落とす。



①、②の順番で切るのがオススメ

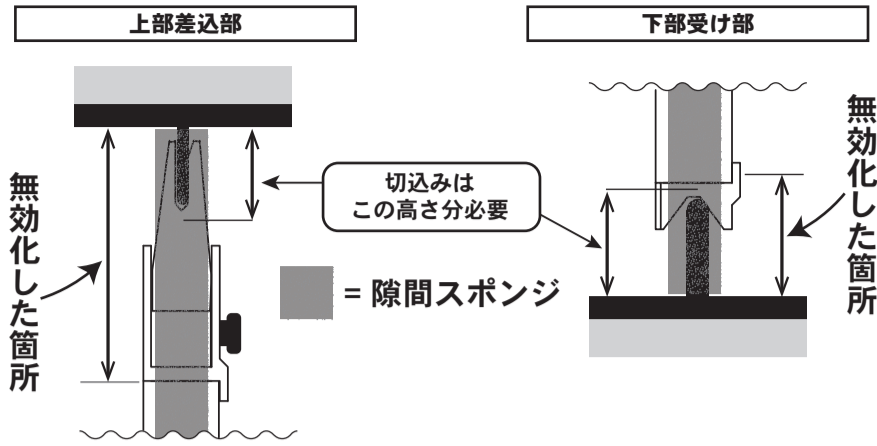
4 隙間スポンジには切り込みを入れる必要があります

下の図をご覧ください。レールに隙間スポンジが干渉してしまうのがおわかり頂けます。隙間スポンジに切り込みを入れることで、レールに差し込むことができるようになり、隙間が埋まります。



5 切り込みの高さを把握する

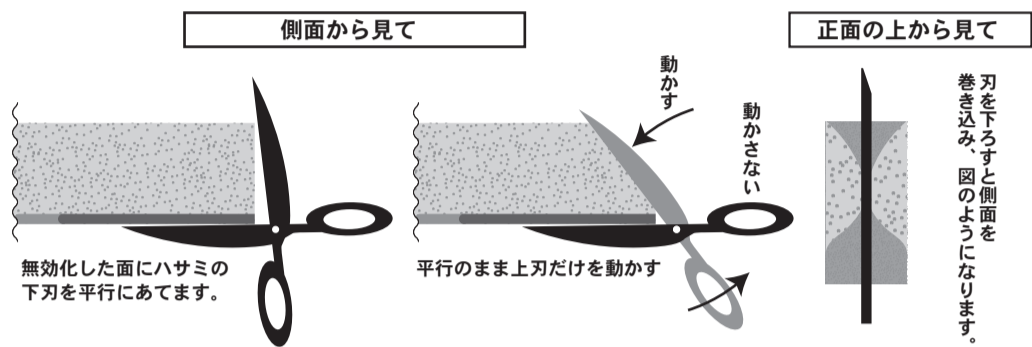
下図のように必要な切り込みの高さを把握してください。



6 ハサミで切り込みを入れる

切り込みの寸法を把握したら、ハサミで切り込みを入れます。

ワンポイントアドバイス 切り込みをまっすぐに入れることは難しいので、端材で練習してください。多少曲がっても問題ありません。任意の寸法に切るのも難しいので、おおよそで問題ありません。

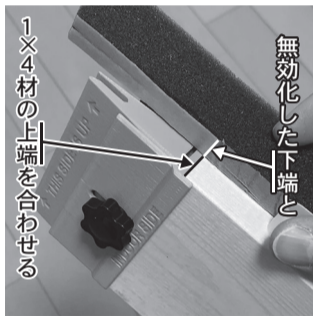


ウレタンを切断する手応えはありませんが、マスキングテープを切る手応えはあり、同時にウレタンも切断されます。ウレタンの切断面は多少波打ちますが問題ありません。

7 隙間スポンジを貼る。

下準備を終えた隙間スポンジを、窓アタッチメントの側面に貼り付けてください

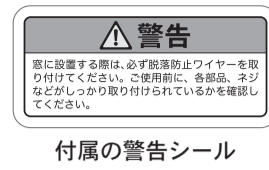
- ①隙間スポンジの無効化した範囲が大きい方が上側になります。
- ②右の写真が隙間スポンジを貼り付ける基準になります。
- ③基準を元に窓アタッチメントと隙間スポンジの位置を確認します。基準に合わせれば隙間スポンジの長さ、無効化した位置などが上下とも適切な位置に合います。多少のズレなら問題ありませんが、全体を確認してから貼り付けてください。



- ワンポイントアドバイス**
- ①隙間スポンジの粘着面は貼り直しができません。軽くあてる程度で貼る位置を調整して、その状態で窓の取り付け位置の最終確認を行い、問題なければ本貼りしてください。
 - ②隙間スポンジをひっぱりながら貼り付けると、ウレタンの収縮により剥がれる恐れがあります。

6. 警告シールを貼る

付属の「警告シール」を目に留まる任意の位置に貼付してください。

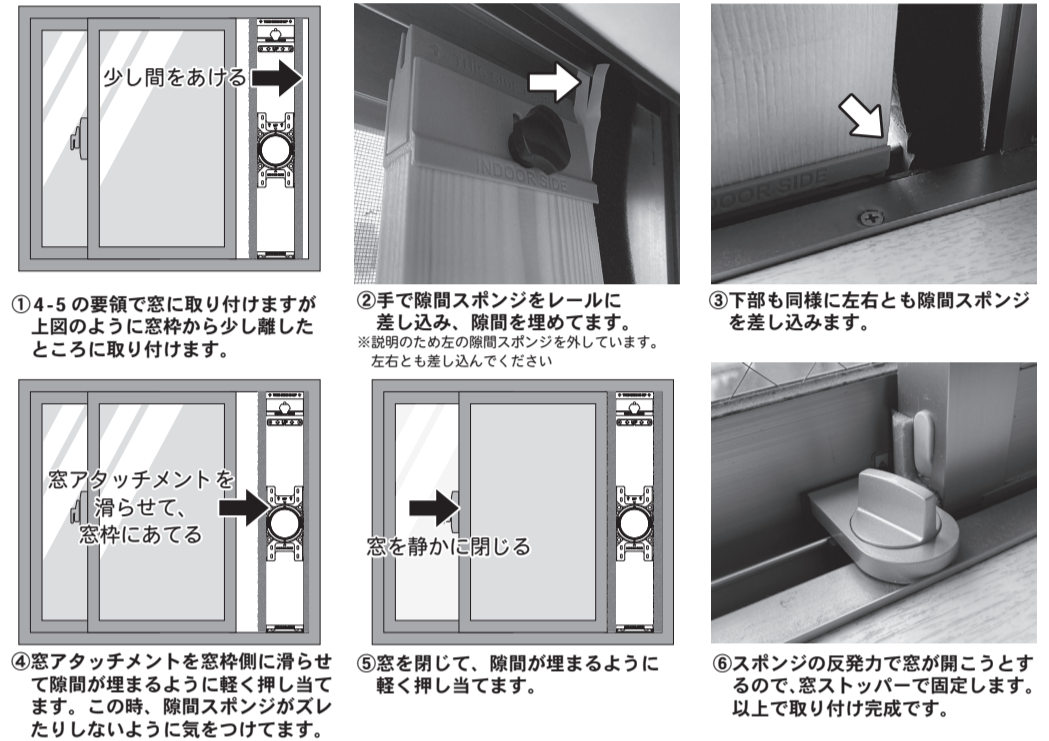


7. 窓アタッチメントを窓に取り付ける

1 脱落防止策をとる

別途用意したワイヤーを把手とカーテンレールなどに繋げて、脱落防止策をとってください

2 窓に窓アタッチメントを取り付ける



3 問題がないか全体を確認する

窓アタッチメントにガタツキ、隙間がないかなど、全体を見渡して問題がないこと確認します。

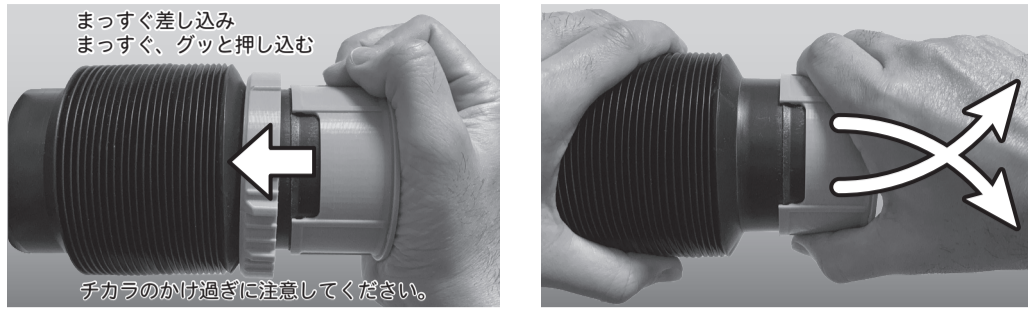
裏面 4 ページに続きます → → →

裏側に木ネジ下穴型紙があります

8. 塗装ブースを接続する

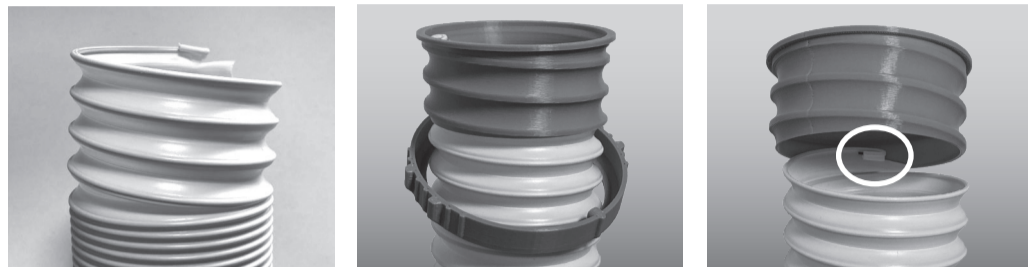
① 排気ホースとホース接続部品(ホースアダプタ)を接続する

タミヤのホースの接続方法(取り外し)



- ①先にクイックネジをホースに通し、まっすぐ差し込み、ガポツという音がするところまで、まっすぐ押し込みます。
- ※ホースをしっかり持ち、片方の手でホース接続部品を持ち、矢印の方向に、小刻みに動かしながら引き抜いてください。

ミスターホビーのホースの接続方法



- ①ホースのジャバラを先端までしっかり伸ばす。
- ②クイックネジの向きに注意してホースに通す。
- ③ホース接続部品(ホースアダプタ)にホースの先端を引っかける。



- ④接続部品を手前に倒し、ホースに乗せ、矢印の方向に回す。
- ⑤ホースの先端が矢印の位置にくるまで回す。
- ※ホース接続部品から飛び出させない。

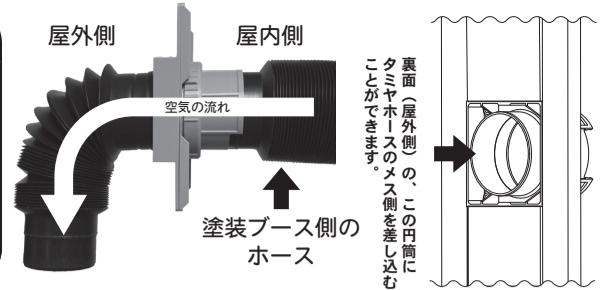
背面にもホースを取り付けることができます。

窓アタッチメントの背面にもホースを接続することができます。(接続しなくても窓アタッチメントはご利用いただけます) これにより、ホースを下に向けるなどして、排気の吹き出しを制御することができます。

右上に続く

背面のホースについて

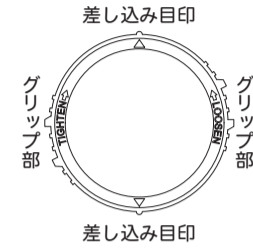
背面には「タミヤ塗装ブース版」「ミスターホビー塗装ブース版」とともにタミヤホース(AO-7019)しか取り付けできません。取り外し方は8.1のホース接続部品と同じですが、脱落防止のため、固めに取り付けられますので、本体をしっかり持って外してください。



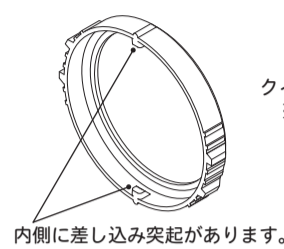
② ホースとホース接続部を接続する

ホース接続部の接続目印と、クイックネジの差し込み目印を合わせて差し込み、根本まで差し込んだら、右に軽く回してください。右に回して止まったところで十分です。強く締める必要はありません。

クイックネジ正面図

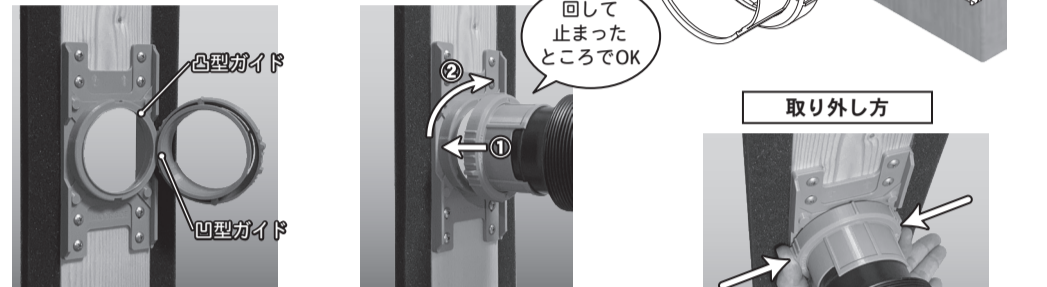


クイックネジ裏側



ホース接続部の接続目印 ※上下にあります。

クイックネジ差し込み目印 ※上下にあります。

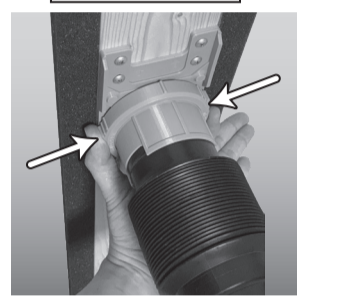


①ホース接続部とホースアダプタに接続ガイドがあることを確認する。

②差し込み目印をあわせてまっすぐ差し込み、クイックネジをまわします。

取り外しはクイックネジのグリップ部の両方を指で挟むように持って反時計回ししてください。こうすると軽力で取り外せます。外れない時は、グリップ部を挟む力を強めにしてください。

取り外し方



9. 吸気を確保し、塗装ブースの吸引を確認する

塗装ブースを稼働させる前に、他の部屋の給気口や窓を開けるなどして、必ず『吸気』を確保してください。塗装ブースの吸引が悪い場合は吸気が確保されているかを確認し、ホースの取り直し、隙間スポンジ、網戸などを確認してください。



塗装ブースの使用にあたり、吸気の確保は大切です。吸気が確保されていないと塗装ブースの性能をきちんと発揮できないこともあります。吸気について、右QRコードの動画で説明しています。ぜひご覧ください。

以上で窓アタッチメント DIY の取り付け完了です。お疲れ様でした!

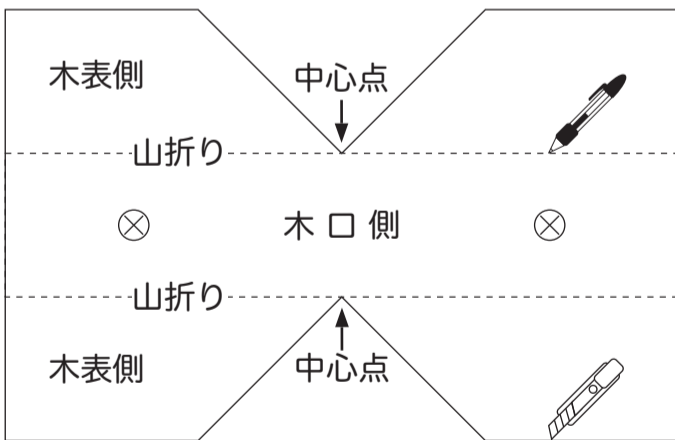
木ネジ下穴型紙

下穴をあけなくても取り付けできますが、下穴を開けるときれいに上げることができます。下穴をあけなくても、この型紙で木ネジを差し込む際の目印をつけることができます。下穴ドリルは直径2.5ミリが目安ですが材質によります。端材で試すのがオススメです。1×4材の寸法は19mm×89mmですが寸法にバラツキ、歪みがあり、型紙が合わないことがあります。部品を1×4材に実際にあてる現物あわせでビスの目印をつける方が正確な場合があります。

① 型紙の切り出し方

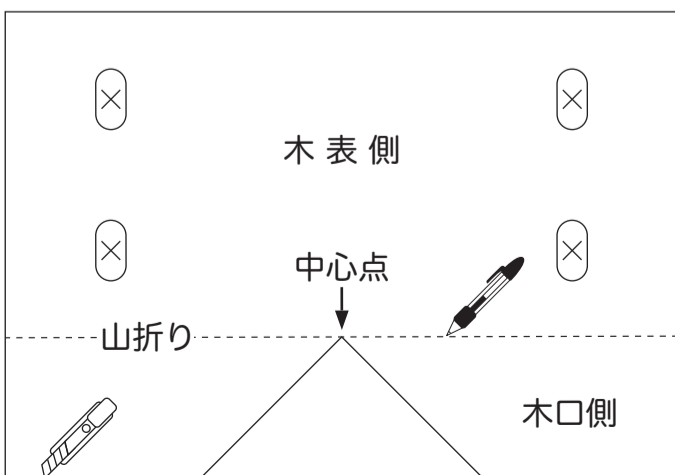
- ① 定規を使い、点線をボールペンでなぞってください。まっすぐな折り目がつき、きれいに折ることができます。
- ② 定規を使い、実線をカッターで切りだしてください。
- ③ 切り出したら、ボールペンでつけた折り目を山折りします。

■ 上部差込部、下部受け部(共通)の下穴型紙



下上部の下穴の深さは15mm程度です。

■ ホース接続部(上下共通)の下穴型紙

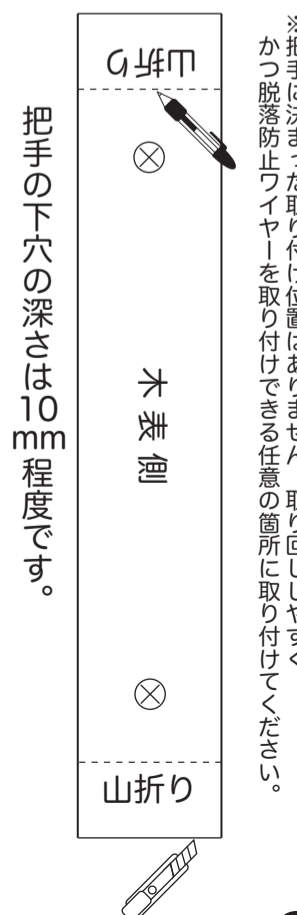


本体部の下穴の深さは10mm程度です。

※材木の部分名称



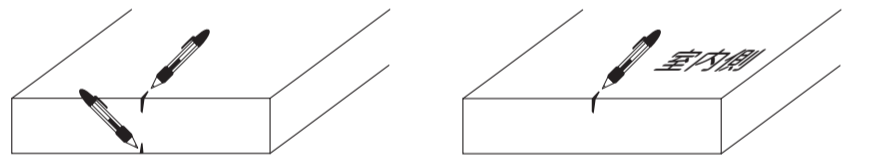
■ 把手の型紙



※把手に決まった取り付け位置はありません。取り回しやすく、かつ脱落防止ワイヤーを取り付けできる任意の箇所に取り付けてください。

② 型紙の使い方

- ① 1×4材を定規で測り、中心に目印をつけます

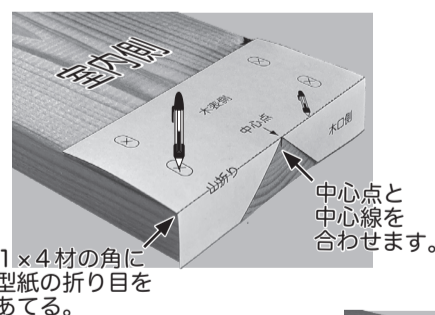


上部差込部、下部受け部には裏表に、木表と木口の角にまたがるように中心線をボールペンで目印をつけます。

ホース接続部は室内側に、木表と木口の角にまたがるように中心線をボールペンで目印をつけます。

- ② 型紙を下写真のように1×4材にあてて、バツ印⊗をボールペンで刺して印をつけます。1×4材の角に、型紙の折り目をしっかりあてるのが正しい位置に印をつけるコツです

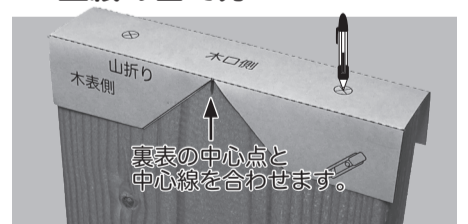
■ ホース接続部の型紙の当て方



1×4材の角に型紙の折り目をあてる。

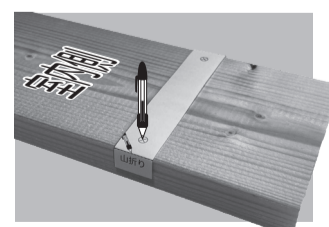
中心点と中心線を合わせます。

■ 上部差込部と下部受け部の型紙の当て方



裏表の中心点と中心線を合わせます。

■ 把手の型紙の当て方



※把手に決まった取り付け位置はありません。取り回しやすく、かつ脱落防止ワイヤーを取り付けできる任意の箇所に取り付けてください。

- ③ ボールペンで印をつけた所に、下穴キリで適度な深さに下穴を開けます。下穴キリがない場合は、先の尖ったドライバーや千枚通しを刺して穴をあけるだけでも下穴の代わりになります。



この型紙は公式ホームページでダウンロードできます。